

第22区 地区防災計画

令和5年 5月25日

第22区 自主防災組織

1 地区の範囲

錦町第22区

2 地区の特性

(1) 地区の社会的特性

ア 地区の世帯数 79 世帯

イ 世帯構成は

若い人達の流出が止まらず、高齢化率の増加に繋がっている。

65歳以上の高齢者は全住民の半数近くになり、高齢化率は増加傾向にある。

ウ 危険地域に居住する地域住民は

多くの住民は山間・河川等が近傍に所在する危険な地域に居住しているが、長年被災経験がなく(少なく)比較的防災意識は低い。

エ 要支援者の分布は

要支援者の居住地区は広域に分散している為、要支援者対策に特段工夫が必要。

オ 地域のコミュニティの関係は

若い人達と高齢者との世代乖離が大きくなってきて、昔ほど住民同志が助け合うコミュニティの良さを感じづらくなってきている。

カ 避難場所・施設は

全世帯とも比較的近傍に指定(緊急)避難場所が設定されている。

キ 災害対応団体は

消防団に限られ事業所の消防やボランティアは期待できない。

(2) 地区の災害特性

ア 土砂災害特性

地区には山間地や急傾斜地が多く広域に所在し多くの住宅地はその近傍にある。

イ 河川災害特性は

地区内は内水氾濫を想定する箇所が一部点在する。

ウ 地区内の交通路は

地区内の避難所迄の交通路は整備され浸水想定地域や土砂災害警戒区域により通行途絶になっても近傍の避難所への通行は確保出来る。

エ 地区内の構造物は

居住地区内建物は木造が多く、密集しており火災や地震災害には多数の被害が想定される。

オ 液状化の危険地域は

地区内には液状化が想定される地域が少ないが一部(覚井集落)がある。

3 活動方針

自主防災活動を通して自主防災組織力を強化する。

4 活動目標

住民の防災意識を高め、速やかに災害情報を伝達し、発災後も情報発信を継続し、避難所に確実に誘導して命を守る活動を行う。